

●製品仕様書

[システム]

形式	CUF-E46P3
適用電力制度	時間帯別電灯型、季節別時間帯別電灯型（通電制御型）
相数 定格電圧 定格周波数	単相 200V 50/60Hz
最大電流	17A
沸上げ温度範囲	約65℃～約90℃
年間給湯保温効率（JIS）※1※2	3.4
区分名	17
年間給湯効率（JRA）※3	3.8
仕向地	次世代省エネルギー基準Ⅲ地域（平成25年省エネルギー基準4地域）以南 ※4
電源線配線径	3.5mm ² （φ2.0）×2芯
専用ブレーカ容量	20A
リモコン線最大延長	30m（0.3mm ² ）
給水器具認証番号	Z-9B-TG-114

[貯湯ユニット]

形式		CFT-E46P3
種類		屋外形
タンク容量		460L（1缶）
缶体材質		SUS
水側最高使用圧力		290kPa（減圧弁設定圧：260kPa）
外形寸法（高さ×幅×奥行）		1850mm×700mm×795mm（脚高さ180mm）
質量（製品質量／満水時質量）		72kg／532kg
外装色		DIC G-258相当、マンセルNo. 5GY8. 5／0. 5<近似>
消費電力	ふろ保温	65W：循環ポンプ
	凍結防止ヒータ	—
	制御用	6W（リモコン消灯時5W）
貯湯機能		おまかせ省エネ・おまかせ・使いきり・満タン／湯増し・湯増し休止
ふろ給湯機能		自動湯はり・自動保温・省エネ保温・自動たし湯・追いだきたし湯・さし水・高温さし湯（追いだきスイッチ3秒押し）
固定用アンカーサイズ		M12×3本（地上階の場合）（2階以上への据付け時はP4／13を参照）
同上用スラブ厚		150mm以上（コンクリート圧縮強度は18MPa以上）
メンテナンススペース		前方600mm
別売品他		壁固定金具・壁固定金具補助・脚固定金具・脚カバー

[ヒートポンプユニット]

形式	CFH-H6014
外形寸法（高さ×幅×奥行）	690mm×820mm [カバー部80mm] ×300mm
質量	55kg
外装色	DIC G-258相当、マンセルNo. 5GY8.5/0.5<近似>
中間期標準加熱能力／消費電力 ※5※6	6.0kW／1.230kW
中間期標準運転電流※6	7.1A
中間期標準エネルギー消費効率	4.9
夏期標準加熱能力／消費電力 ※5※7	4.5kW／0.815kW
冬期高温加熱能力／消費電力 ※5※8※9	6.0kW／2.000kW
ヒートポンプ運転音 ※10（中間期※6/冬期※9）	42dB／45dB
冷媒名及び封入量	CO ₂ 0.860kg
設計圧力（高圧／低圧）	14.0MPa／8.5MPa
設置可能最低外気温度	-10℃
固定用アンカーサイズ	M10×4本
別売品他	防雪カバー・風向板
その他	ストレーナ内蔵

[台所・浴室リモコン（インターホン）]

リモコンセット形式	CFR-EAD14（S）		
リモコン名称	台所リモコン	浴室リモコン	増設リモコン
形式	CFR-MEAD14	CFR-BEAD13	RSP-EA13
外形寸法（高さ×幅×奥行）	120×147.5×25.5（mm）	120×200×25.5（mm）	120×147.5×25.5（mm）
質量	350g	350g	350g
色相	ホワイト	ホワイト	ホワイト
定格電圧	DC12V	DC12V	DC12V
定格電流	80mA（インターホン時150mA）	80mA（インターホン時150mA）	80mA
表示	フルドットモノクロ液晶表示	フルドットモノクロ液晶表示	フルドットモノクロ液晶表示
機能	インターホン機能（ハンズフリー通話）、ボイス機能 文字ガイド、エコガイド、ふろ自動スイッチ 今日の湯増し休止スイッチ	インターホン機能（ハンズフリー通話）、ボイス機能 文字ガイド、エコガイド、ふろ自動スイッチ 追いだきスイッチ、今日の湯増し休止スイッチ	ボイス機能、文字ガイド、エコガイド ふろ自動スイッチ、今日の湯増し休止スイッチ

[その他の主要機能]

形式	CUF-E46P3
ふろ保温方法	ヒータレス（タンク内の熱量を利用）
非常用取水栓	貯湯ユニットに取水栓あり
湯水混合弁	3個（給湯用、ふろ用、中温水用で独立制御）
ユニット間配管凍結防止	バイパス循環三方弁による凍結予防運転
基準浴槽 ※11	有効水量180L～220L（満水容積340L以下の浴槽）
HEMS対応	通信規格 ECHONET Lite規格準拠 レディ機器

- ※1 年間給湯保温効率（JIS）は、日本工業規格JIS C 9220：2011に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量および保温熱量を表したものです。ふろ保温機能のあるものは年間給湯保温効率（JIS）とし、以下の式で求められます。
年間給湯保温効率（JIS）＝1年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量÷1年間に必要な消費電力量
地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。
- ※2 年間給湯保温効率（JIS）算出時の条件
着霜期高温加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）2℃／1℃、水温5℃、沸上げ温度90℃
冬期給湯保温モード条件における沸上げ温度70℃
着霜期給湯保温モード条件における沸上げ温度72℃
夜間消費電力量比率（JIS C 9220：2011 冬期給湯保温モード条件時）：80％
- ※3 年間給湯効率（JRA）は、一般社団法人 日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050：2007Rに基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、1年を通して、ある一定の条件（※）のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお値は、省エネモードである「おまかせ省エネ」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用状況等により変わります。
※一定の条件とは、東京、大阪を平均した気象条件、給水温度で42℃のお湯を1日に約425L使用する条件等を想定したものです。
年間給湯効率（JRA）＝1年で使用する給湯に係る熱量÷1年間に必要な消費電力量
- ※4 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域（平成25年省エネルギー基準4地域）：主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県の一部など。最低気温が-10℃を下回る地域には据え付けないでください。
- ※5 沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
- ※6 中間期標準加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温17℃、沸上げ温度65℃
- ※7 夏期標準加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）25℃／21℃、水温24℃、沸上げ温度65℃
- ※8 冬期高温加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温9℃、沸上げ温度90℃
- ※9 低外気温時は、加熱能力が低下することがあります。
- ※10 運転音は、JIS C 9220：2011に準拠し、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
- ※11 有効水量が220Lを超える浴槽やタイル貼りの特殊浴槽では、追いだきができないことがあります。
- ※12 配管延長が長くなると、自然放熱により沸上がり温度が下がります。
- ※13 耐熱性樹脂管を使用する場合、弊社カタログ掲載部材をご使用ください。
- ※14 給湯配管には必ず負圧弁付き空気抜き弁（別売品）、流量調整バルブ（市販品）を取り付けてください。ふろ配管には取り付けできません。

[設置制約]

形式	CUF-E46P3		
ユニット間配管 ※12	片道 標準5m、最大15mまで （5曲がり以内、保温材t10以上）		
同上管種 ※13	銅管φ12.7（耐熱性樹脂管10A）		
同上鳥居落差	3m以内（1ヵ所のみ）		
浴槽設置制約	貯湯ユニット底面から上方7m（浴槽上端まで） 下方1.5m（浴槽循環口中央まで）		
	貯湯ユニット	塩害地	不可
海岸線からの離隔	ヒートポンプユニット	塩害地	不可
階下給湯	給湯配管は貯湯ユニット上面から下方5mまで可 ※14		

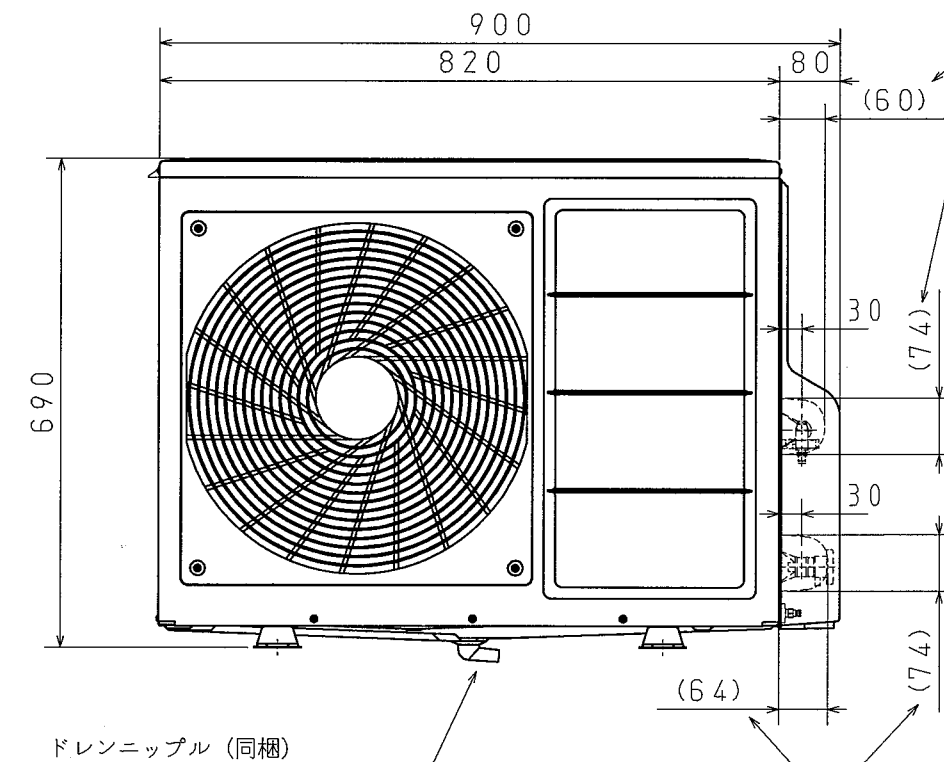
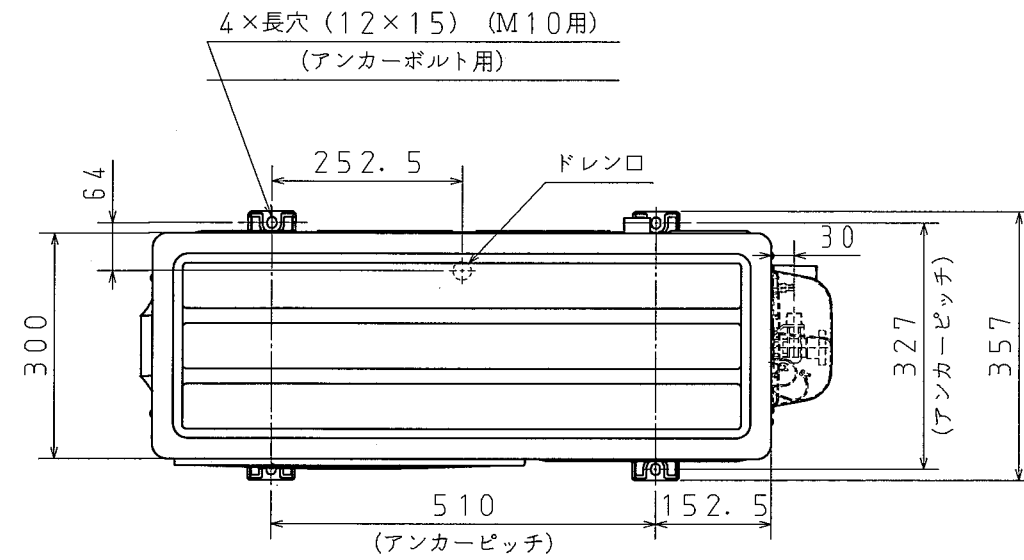
名 称	セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機			
型 式 名	CUF-E46P3			1/13
版 数	第 1 版			
		承 認	審 査	作 成
		坂井	伏江	島田
年 月 日	改 訂 履 歴			
納入仕様図面		作 成	2014年 7月18日	
		縮 尺	Free	
株式会社 コロナ		〒955-8510	新潟県三条市 東新保7-7	

●ヒートポンプユニット外形寸法図

●ヒートポンプユニット
形式：CFH-H6014

[凍結予防機能]

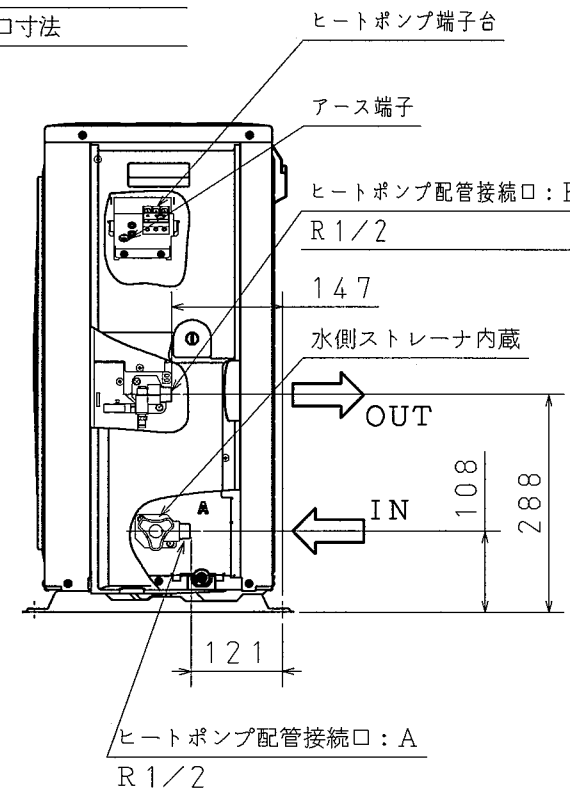
ヒートポンプ配管	バイパス循環三方弁による凍結予防運転 (循環配管の凍結防止ヒータは施工不要)
----------	---



※市販のドレンホース(φ16)を接続して
結露水が排水できる位置へ導きます。

ヒートポンプ配管(A)の
取出部開口寸法

ヒートポンプ配管(B)の
取出部開口寸法



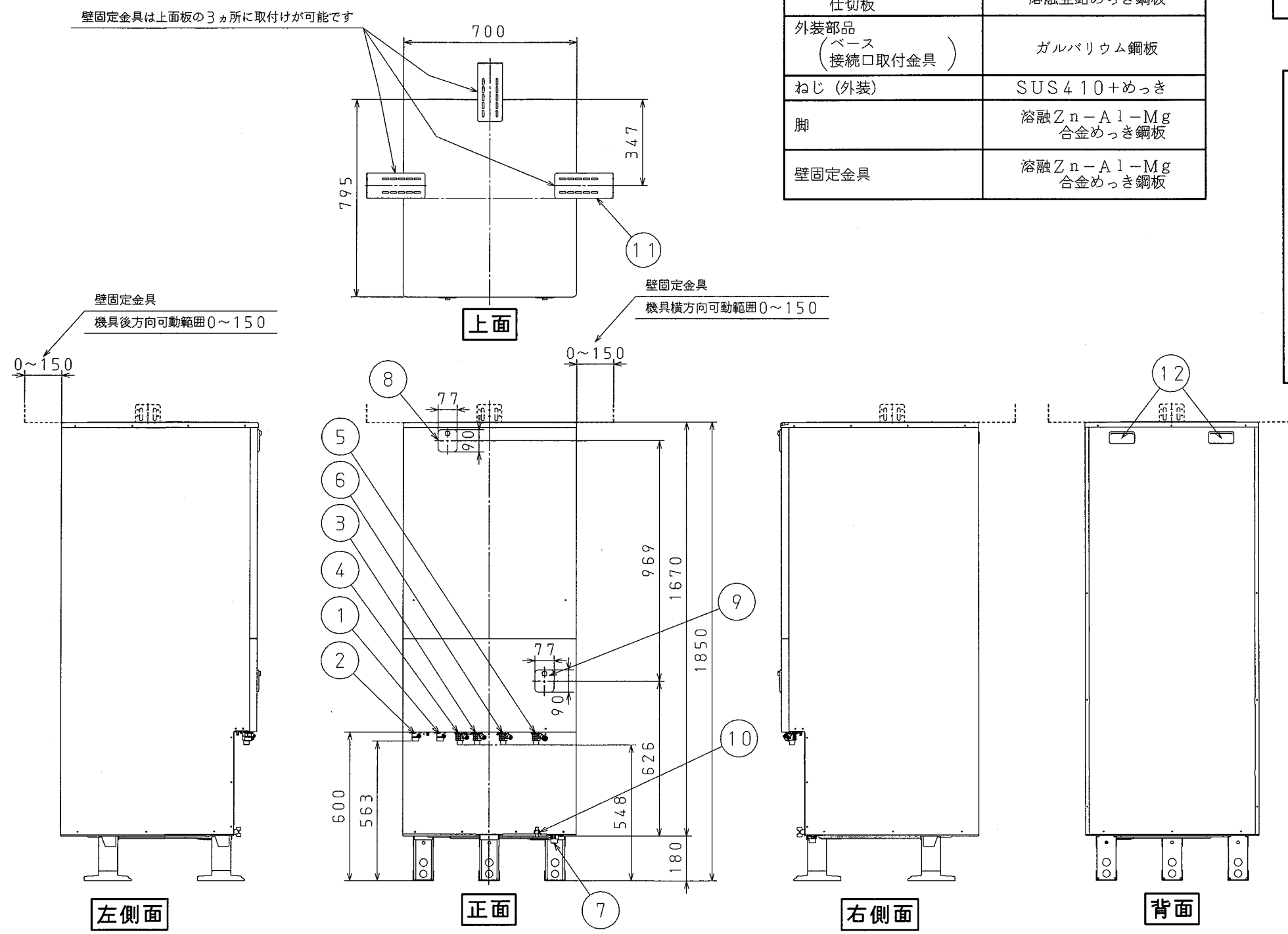
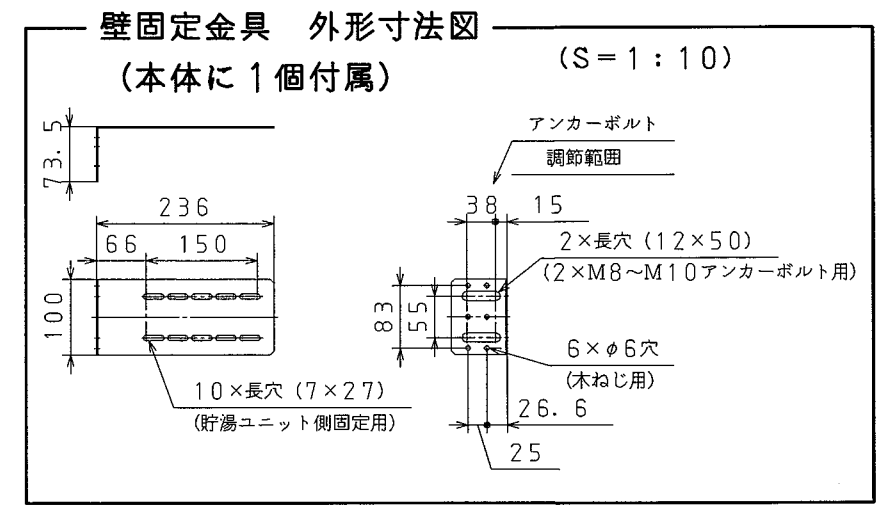
名 称	セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機			
型 式 名	CUF-E46P3			2/13
版 数	第 1 版			
		承 認	審 査	作 成
				
年 月 日	改 訂 履 歴			
納入仕様図面		作 成	2014年 7月18日	
		縮 尺	1 : 10	
株式会社 コロナ		〒955-8510 新潟県三条市 東新保7-7		

●貯湯ユニット外形寸法図

●貯湯ユニット
形式：CFT-E46P3

番号	名 称	仕 様
①	給水接続口	R3/4
②	給湯接続口	R3/4
③	ふろ配管接続口：往	R1/2
④	ふろ配管接続口：戻	R1/2
⑤	ヒートポンプ配管接続口：A	R1/2
⑥	ヒートポンプ配管接続口：B	R1/2
⑦	排水口	R3/4 間接排水とすること
⑧	逃し弁操作カバー	
⑨	漏電しゃ断器操作カバー	
⑩	排水栓	
⑪	壁固定金具	1個付属（可動範囲0～150mm）
⑫	とって	背面2ヵ所

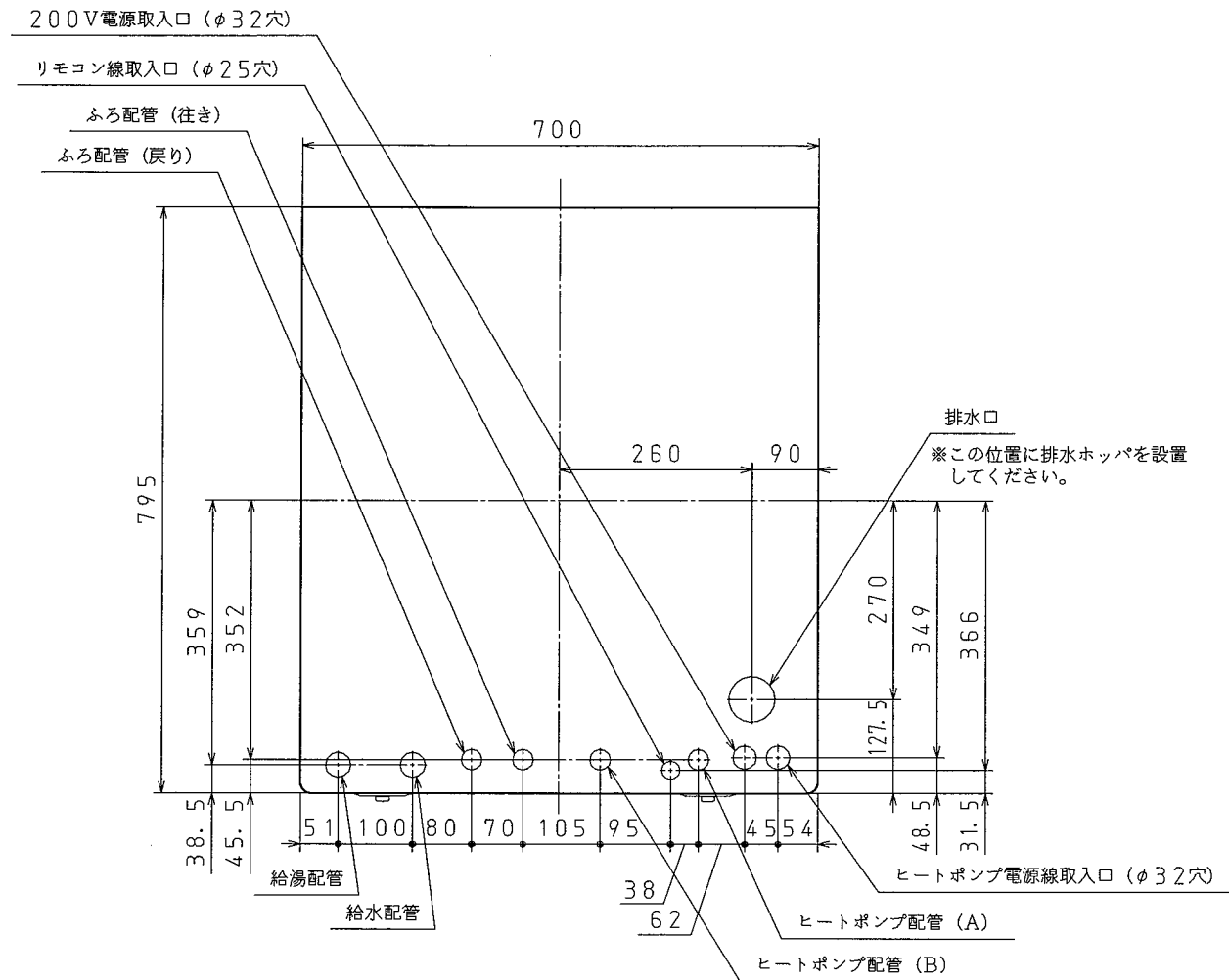
名称	仕様
外装部品 （上面板、前扉上 前扉下、側板右 側板左、後板）	プレコート鋼板 （上面板を除き 耐汚染性塗装鋼板 を使用）
外装部品 仕切板	溶融亜鉛めっき鋼板
外装部品 （ベース 接続口取付金具）	ガルバリウム鋼板
ねじ（外装）	SUS410+めっき
脚	溶融Zn-Al-Mg 合金めっき鋼板
壁固定金具	溶融Zn-Al-Mg 合金めっき鋼板



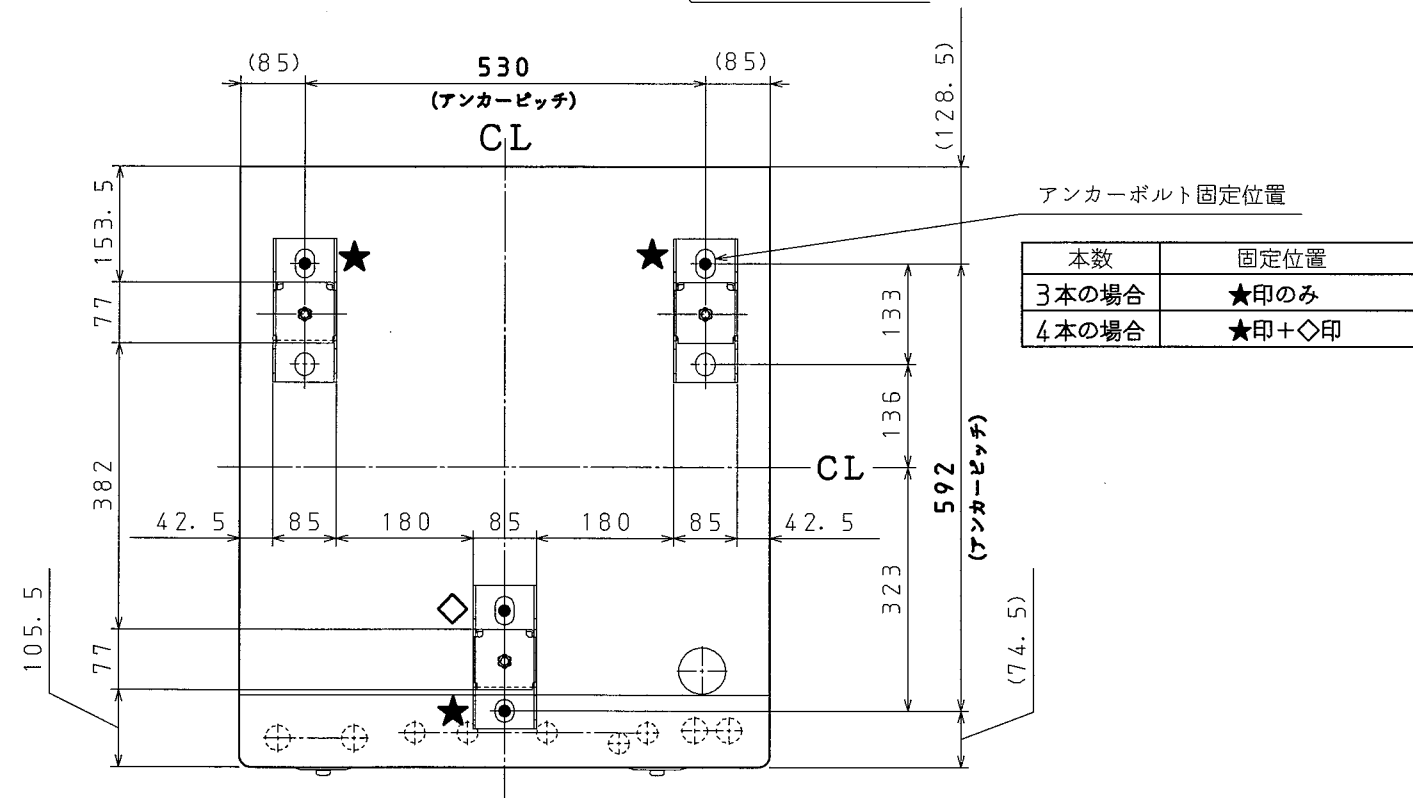
名 称	セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機			
型 式 名	CUF-E46P3			3/13
版 数	第 1 版			
		承 認	審 査	作 成
		坂井	伏江	島田
年 月 日	改 訂 履 歴			
納入仕様図面		作 成	2014年 7月18日	
		縮 尺	1 : 20	
株式会社 コロナ		〒955-8510 新潟県三条市 東新保7-7		

●貯湯ユニット取付関係寸法図

配線・配管立上げ位置図



アンカー位置図



【転倒防止対策】

国土交通省より「建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件（平成12年建設省告示1388号）」が改正されました。
この内容を受けて、下記のとおり転倒防止措置を記載しましたので、正しく据え付けてください。

据付場所	壁固定金具	アンカーボルト	呼び径	1本あたりの引張耐力	ドリル径 (mm)	有効埋込み深さ	固定数
地上階	なし／あり	おネジ式アンカーボルト	M12	6.7kN以上	φ12.7	60mm	3本以上
2階以上	なし	接着系アンカーボルト	M16	12.0kN以上	φ20	110mm	4本
	あり	おネジ式アンカーボルト	M12	6.7kN以上	φ12.7	60mm	3本以上

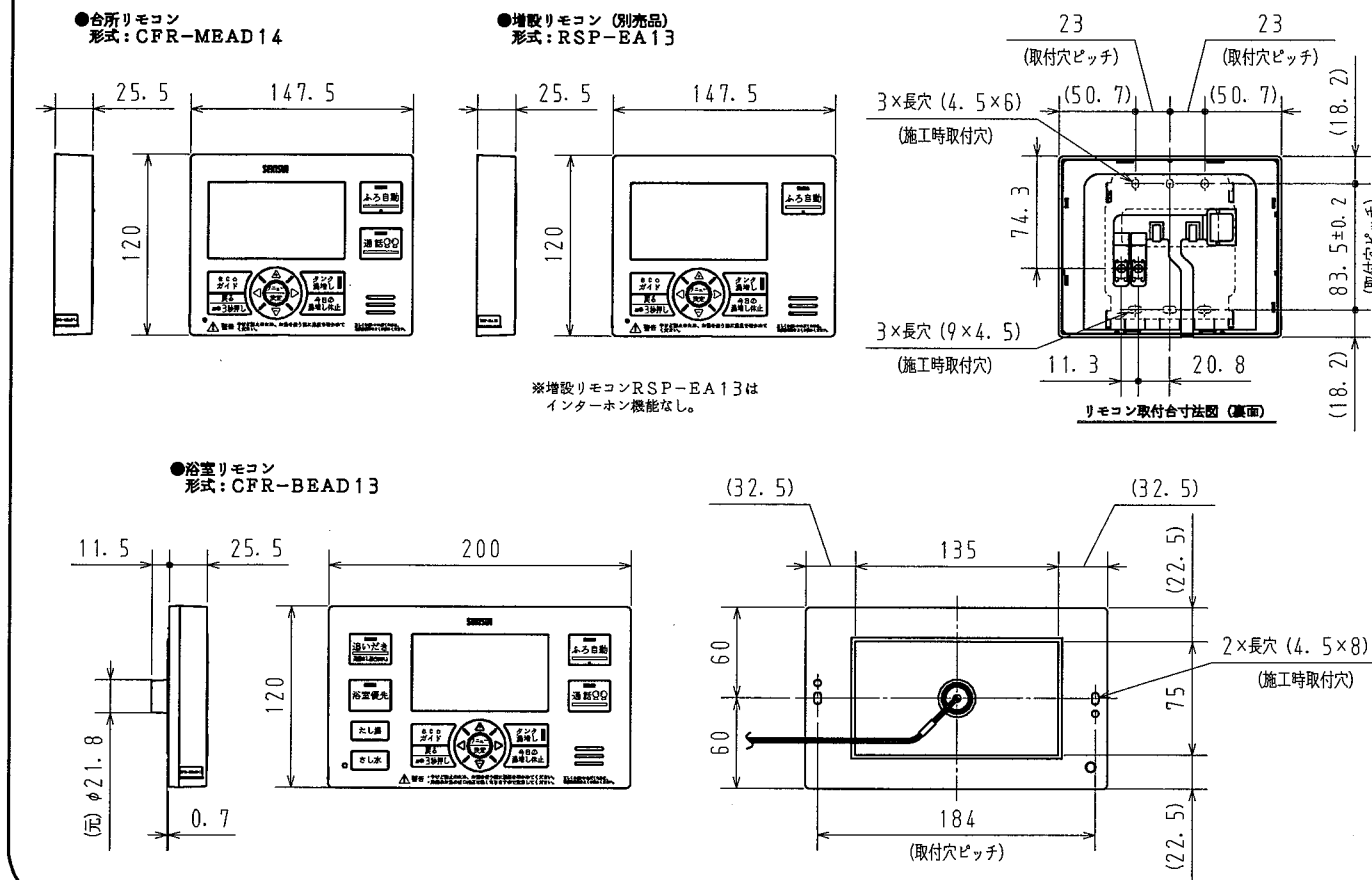
●詳しくは、「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」（一般財団法人 日本建築センター）および「建築基準法施行令第129条の2の4第2号の規定に基づき、建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件（平成12年建設省告示1388号）」に従って確実に行ってください。

名 称	セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機			
型 式 名	CUF-E46P3			4/13
版 数	第 1 版			
		承 認	審 査	作 成
				
年 月 日	改 訂 履 歴			
納入仕様図面		作 成	2014年 7月18日	
		縮 尺	1 : 10	
株式会社 コロナ		〒955-8510 新潟県三条市 東新保7-7		

●リモコン外形寸法図

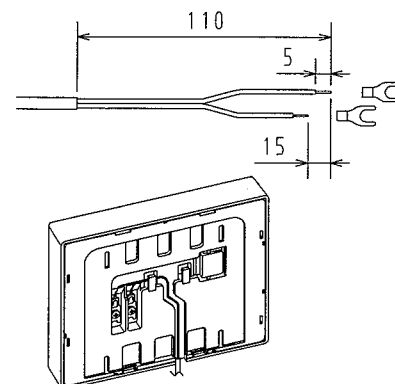
色相	ホワイト		
リモコンセット形式	インターホンリモコン CFR-EAD14 (S)		
リモコン名称	台所リモコン	浴室リモコン	増設リモコン
形式	CFR-MEAD14	CFR-BEAD13	RSP-EA13

インターホン：CFR-EAD14 (S)

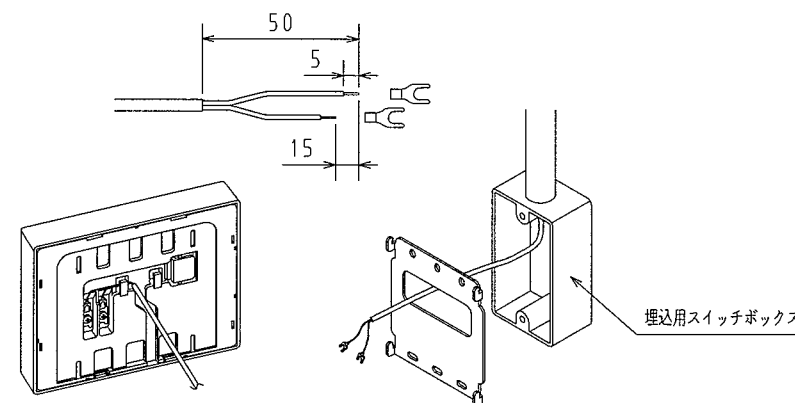


リモコンコード被覆のむく長さ

1. 壁面に取り付ける場合（露出配線）



2. スイッチボックスに取り付ける場合（埋め込み配線）

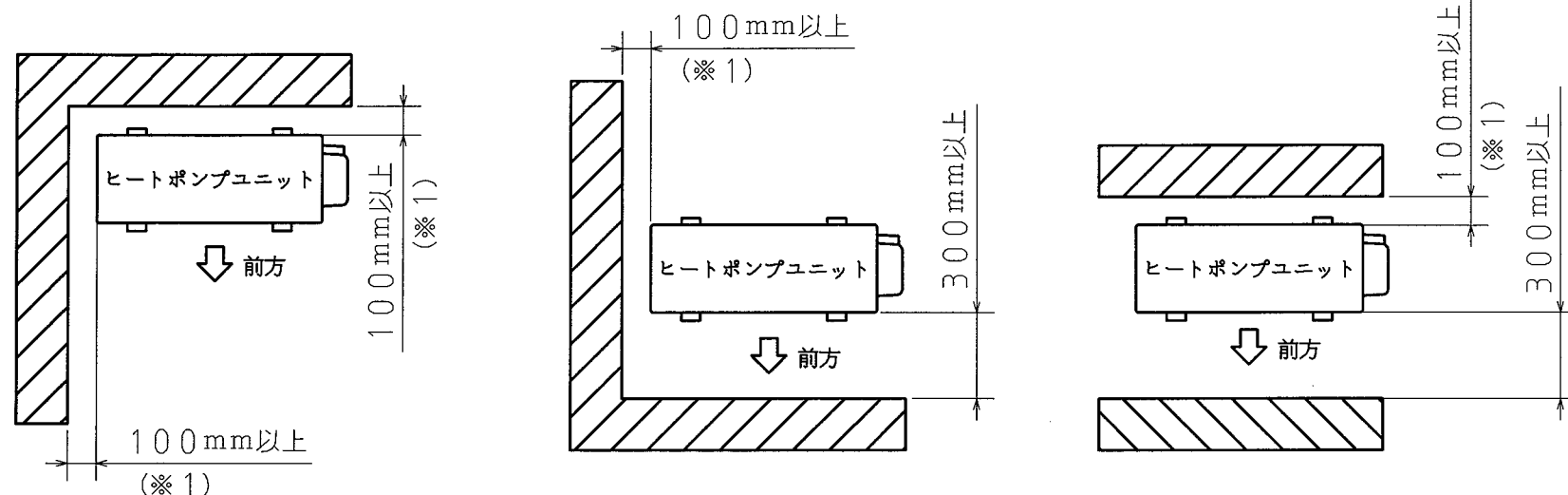


名 称	セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機		
型 式 名	CUF-E46P3		5/13
版 数	第 1 版		
		承認	審査
		坂井	伏江
年 月 日	改 訂 履 歴		島田
納入仕様図面		作 成	2014年 7月18日
		縮 尺	1:5
株式会社 コロナ		〒955-8510 新潟県三条市 東新保7-7	

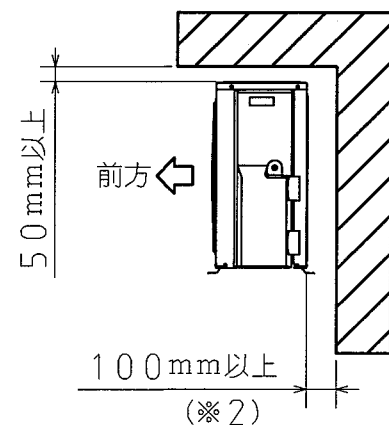
●ヒートポンプユニット、貯湯ユニットの据付制約

ヒートポンプユニット単体の据付制約

- ＜床置据付の制約＞ ●ヒートポンプユニットの周囲3方向以上に壁などの障害物がある場合は、設置不可です。
●ヒートポンプユニットの上方向は風の流れを妨げないようにしてください。
●ヒートポンプユニット周辺に1方向しか障害物がない場合でも、下記寸法に準じて設置してください。



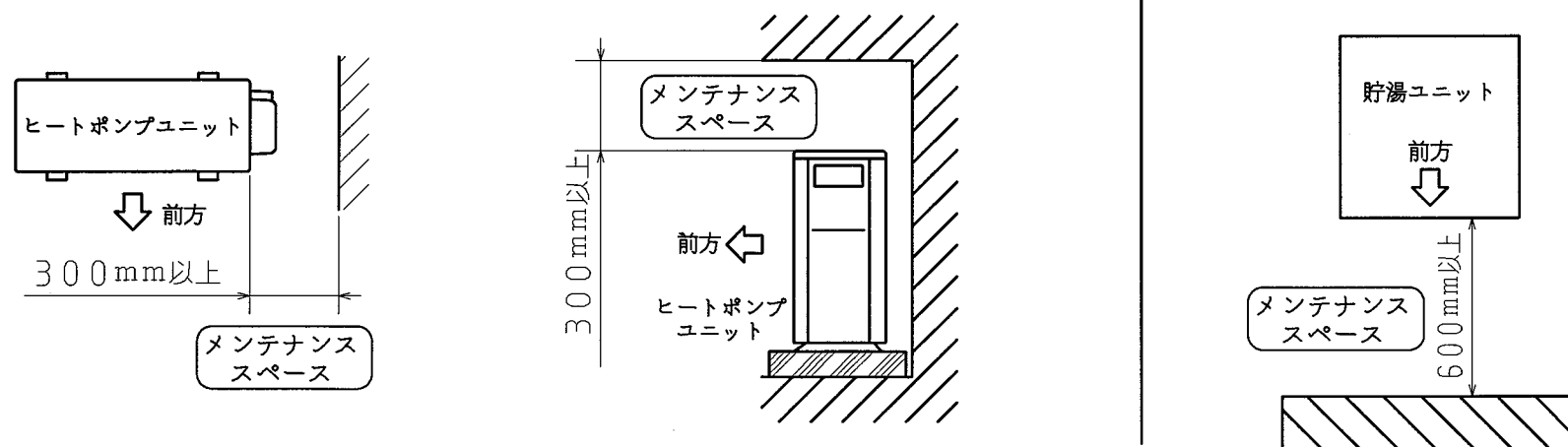
- ＜吊下据付の制約＞ ●下方向は風の流れを妨げないようにしてください。



- ※1 防雪カバーを取り付ける場合は110mm以上必要です。また、運転音低減のため110mm以上確保することをおすすめします。
※2 ヒートポンプユニットを吊下据付する場合は、必ず背面を壁側にしてください。

メンテナンススペースに関わる据付制約

- ヒートポンプユニットの右側と上側には300mm以上、貯湯ユニットの前方には600mm以上のメンテナンススペースを確保してください。



警告

- 火災予防条例、電気設備に関する技術基準を守る
資格・指定のない方が工事をする、法令違反になる場合があります。
●ヒートポンプユニットは屋内に設置しない
万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至るおそれがあります。
●可燃性ガスや引火物の近くに設置しない
発火・火災になるおそれがあります。

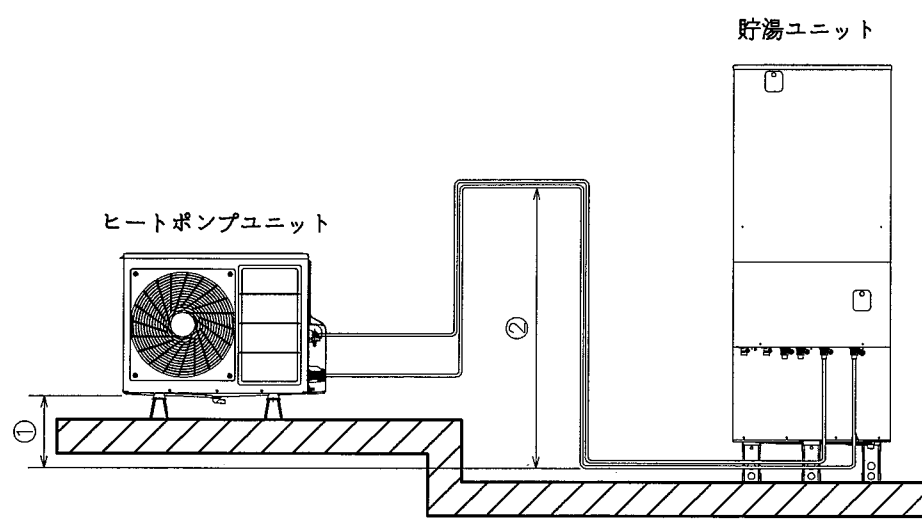
注意

- 塩害のおそれのある海岸付近や腐食性ガス発生のおそれのある温泉地等には設置しない
機器故障の原因になります。
●冠水するところには設置しない
冠水すると漏電や感電事故のおそれがあります。
●次世代省エネルギー基準によるⅠおよびⅡ地域（平成25年省エネルギー基準による1～3地域）には、機器を設置しない
機器故障のおそれがあります。（冬期の最低気温が-10℃を下回る地域では、機器の性能が十分発揮できないことがあります。）
●水道水を使用する（温泉水・井戸水は使用不可）
水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。
また、水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていたり、酸性水質の地域では、エコキュートの使用を避けてください。
水経路の詰まり、腐食等により不具合となる場合があります。
●お客様に引き渡すまでの間は電源を入れたままにしておく
電源を入れたままにできない場合、冬期など凍結のおそれがあるときは、貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットの排水を行ってください。
（貯湯ユニット、ヒートポンプユニットの水抜き栓からの水抜きも確実に行ってください。）

名 称	セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機			
型 式 名	CUF-E46P3			6/13
版 数	第 1 版			
		承 認	審 査	作 成
		坂井	伏江	島田
年 月 日	改 訂 履 歴			
納入仕様図面		作 成	2014年 7月18日	
		縮 尺	Free	
株式会社 コロナ		〒955-8510 新潟県三条市 東新保 7-7		

●配管に関わる据付制約

ヒートポンプ配管に関わる据付制約

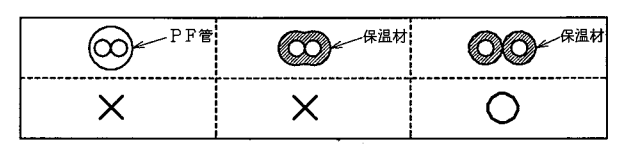


使用配管材	95℃以上の耐熱性・耐食性を有するもの (銅管・耐熱性樹脂管など)
配管サイズ	銅管：φ12.7 耐熱性樹脂管：10A (弊社カタログ掲載部材)
配管全長	片道 標準5m、最大15mまで
曲がり箇所	片道5ヵ所以内
配管高さ (①)	ヒートポンプユニット底面より±3m以内
鳥居落差 (②)	3m以内 (1ヵ所のみ)
保温材厚み	10mm以上

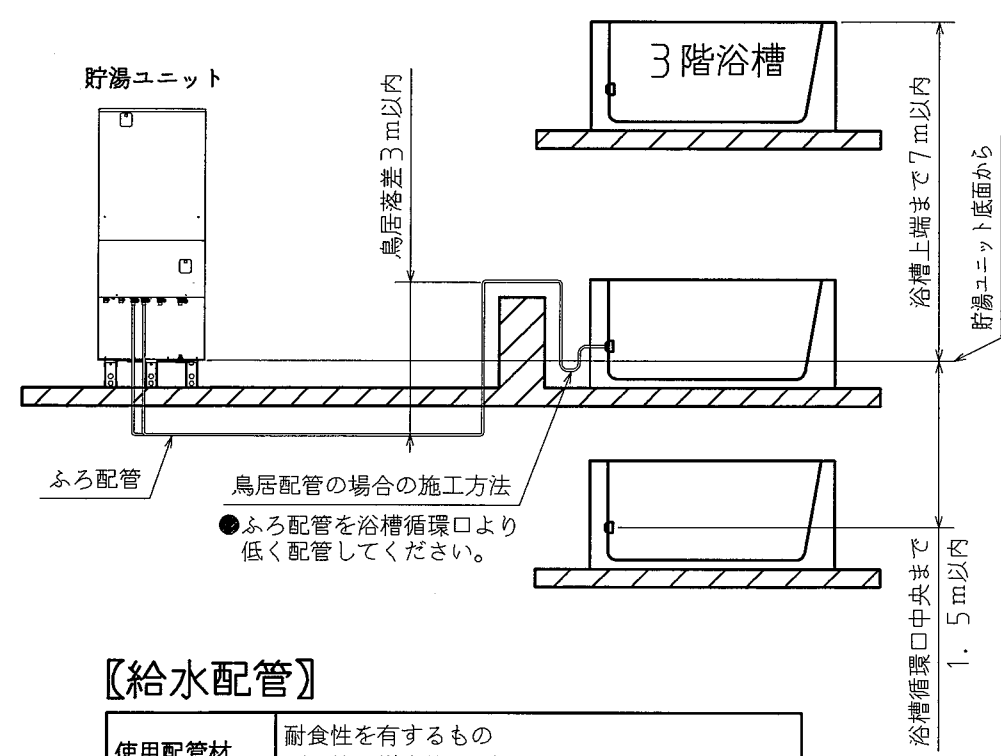
●最大配管長は15m (保温材t10) となります。
配管が長くなると自然放熱により沸上がり温度が下がります。
(15mを超える場合はお問い合わせください。)

※耐熱性樹脂管を使用する場合、弊社カタログ掲載部材をご使用ください。

- ヒートポンプユニットと貯湯ユニットの接続口はAとA、BとBを接続してください。
- 配管は必ず指定サイズを使用してください。指定外サイズを使用すると沸上り性能低下や電気代が増える原因になります。
- ペアチューブは使用不可です。配管どうして熱交換され、ヒートポンプの性能が発揮できません。A側・B側それぞれ独立した配管とし、放熱を防ぐ保温材を巻いてください。(保温材厚み：10mm以上)



ふろ配管・給水配管・給湯配管に関わる据付制約



●ふろ配管を浴槽循環口より低く配管してください。

【給水配管】

使用配管材	耐食性を有するもの (銅管・樹脂管など)
配管サイズ	銅管：20A (3/4B) 樹脂管：16A
保温材厚み	10mm以上

- 給水圧力は300kPa以上で使用してください。
- 給水圧力が500kPaを超える場合は、給水用減圧弁を設けてください。

【ふろ配管】

使用配管材	耐熱性・耐食性を有するもの (銅管・耐熱性樹脂管など)
配管サイズ	銅管：15A (1/2B) ※1 耐熱性樹脂管：13A ※2
配管全長	片道15m以内
曲がり箇所	片道10ヵ所以内
鳥居落差	3m以内 (浴槽が2階以上の場合は鳥居は不可) (1ヵ所のみ)
配管高さ	階下と3階以上は不可 (貯湯ユニット底面から ・浴槽上端まで上方7m以内 ・浴槽循環口中央まで下方1.5m以内)
保温材厚み	10mm以上

- ペアホースは放熱ロスが大きいため、使用は避けてください。
- ※1 銅管φ12.7を使用する場合は、片道6m以内、5曲がりまでとしてください。
- ※2 耐熱性樹脂管10Aを使用する場合は、片道6mまでとしてください。

【給湯配管】

使用配管材	耐熱性・耐食性を有するもの (銅管・耐熱性樹脂管など)
配管サイズ	銅管：20A (3/4B) 耐熱性樹脂管：16A
保温材厚み	10mm以上

- 耐熱性樹脂管および保温材は耐候性がありませんので、配管が屋外で露出する場合は、必ず耐候性テープを正しく巻いてください。
- フレキシ管は、ふろ配管接続部の位置ずれの吸収のみに使用可能です。(30cmまで)
ただし、エアがみや放熱ロスを防ぐため、できるだけ使用を避けてください。

名 称	セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機			
型 式 名	CUF-E46P3			7/13
版 数	第 1 版			
		承 認	審 査	作 成
				
年 月 日	改 訂 履 歴			
納入仕様図面		作 成	2014年 7月18日	
		縮 尺	Free	
株式会社 コロナ		〒955-8510 新潟県三条市 東新保7-7		

●電気工事 <配線例>

200V電源線・ヒートポンプ電源線

リモコン線

アース線

貯湯ユニット

増設リモコン
(別売品)

台所リモコン

浴室リモコン

リモコン線

0.3mm² 2芯

ヒートポンプユニット

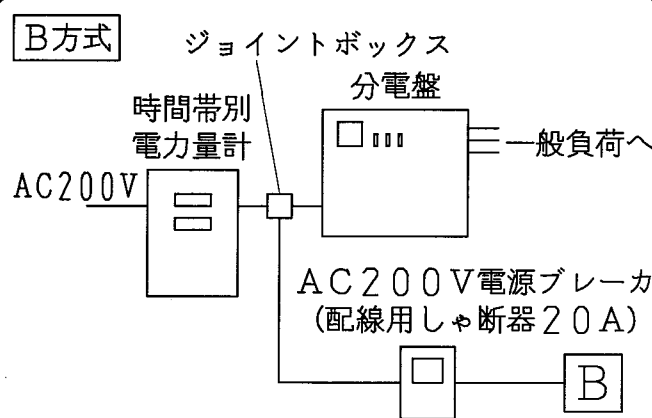
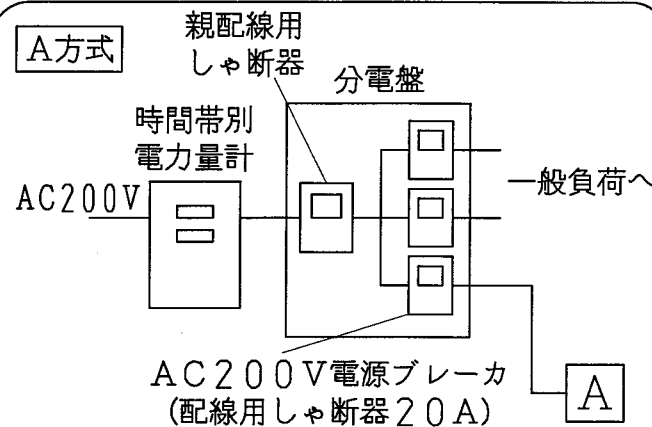
φ16PF管

φ22PF管

アース接地抵抗100Ω以下
(D種接地工事)

アース線
φ1.6 1V線

ヒートポンプ電源線
φ2.0 VVF線 3芯



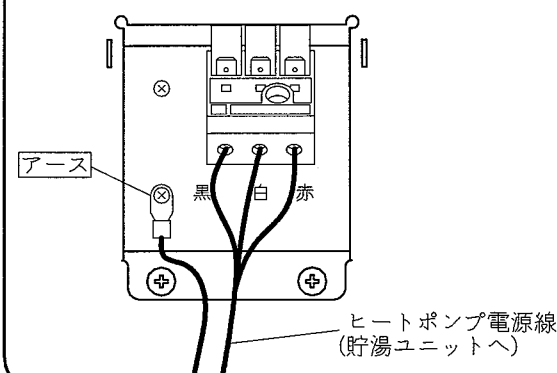
※引込み配線方式には、A方式とB方式があります。適合する配線方式は、地域の電力会社へ確認してください。
(適合する配線方式は、電力会社、機器により異なる場合があります。)

※AまたはB⇒

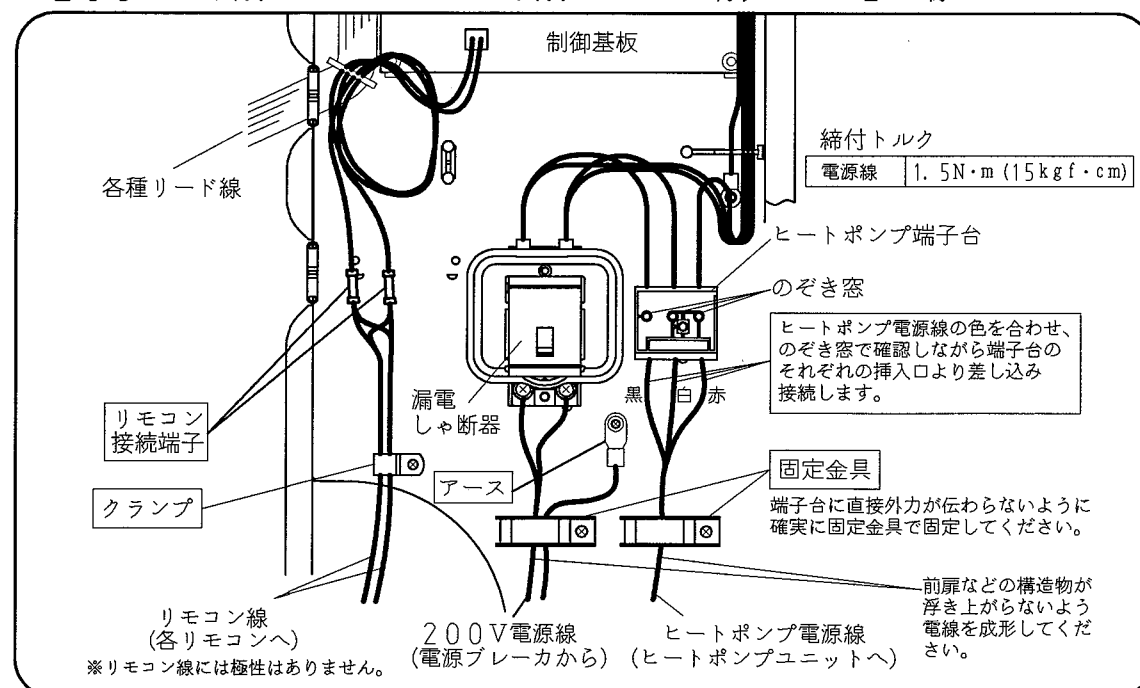
200V電源線
3.5mm² (φ2.0) VV線2芯

ヒートポンプユニット
「ヒートポンプ電源線、アース」配線図

ヒートポンプ端子台



貯湯ユニット
「200V電源線、ヒートポンプ電源線、リモコン線、アース」配線図

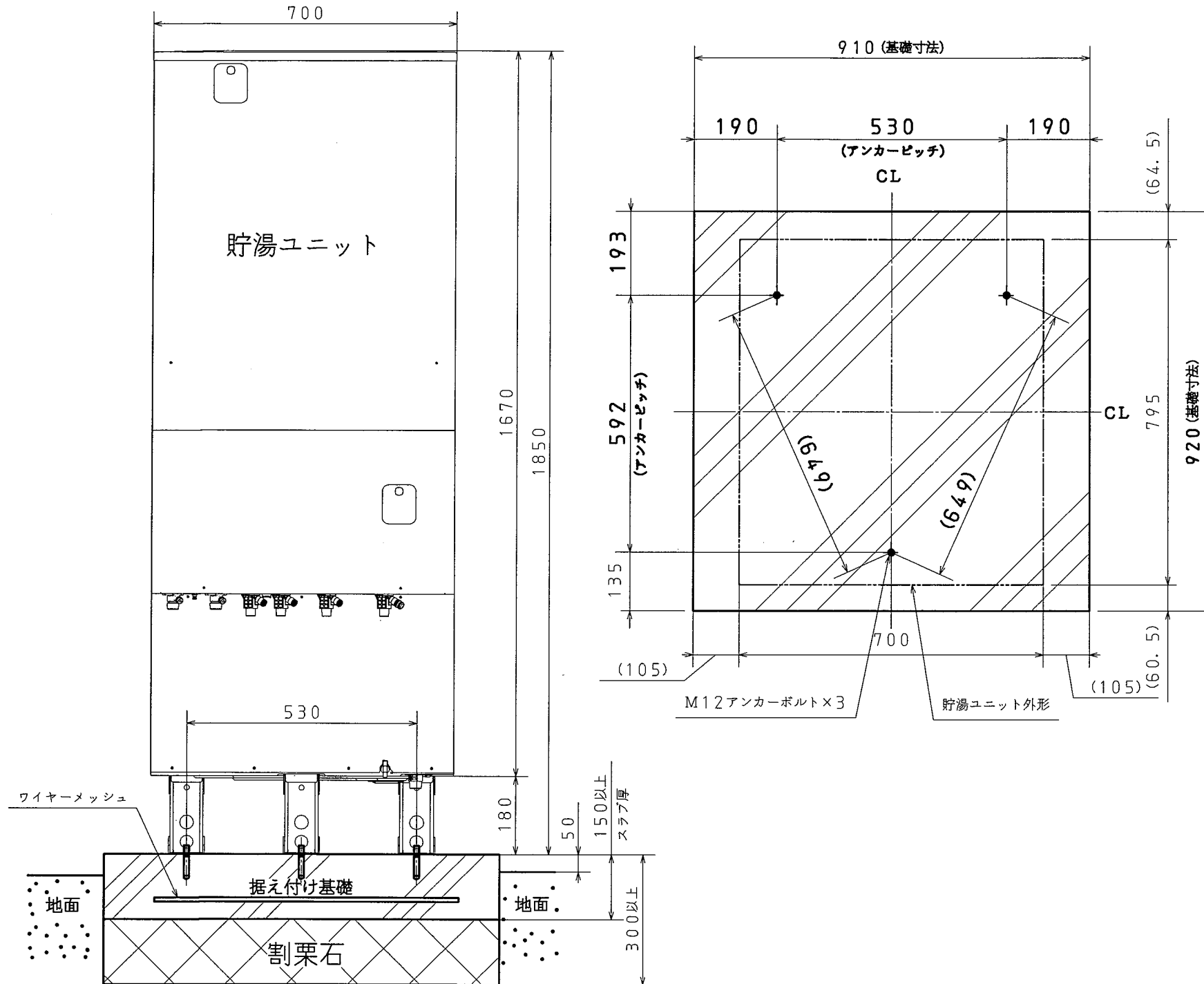


名 称	セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機			
型 式 名	CUF-E46P3			8/13
版 数	第 1 版			
		承 認	審 査	作 成
				
年 月 日	改 訂 履 歴			
納入仕様図面		作 成	2014年 7月18日	
		縮 尺	Free	
株 式 会 社 コ ロ ナ		〒955-8510 新潟県三条市 東新保7-7		

●標準施工例①

地上階設置 <独立基礎の場合>

- 貯湯ユニット満水時の質量に十分耐える基礎工事をしてください。
- 床面は防水・排水工事を行ってください。

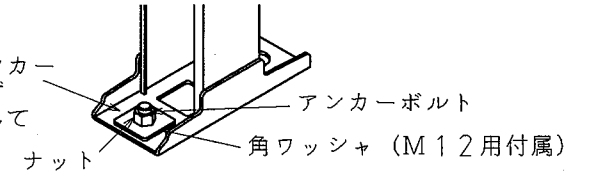


●脚の固定方法

貯湯ユニット脚部をアンカーボルトで固定する

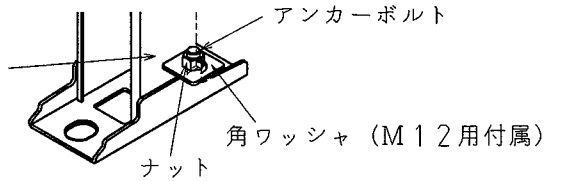
前脚

貯湯ユニット前脚部のアンカーボルトによる固定は、必ず前方の固定用の穴を使用してください。



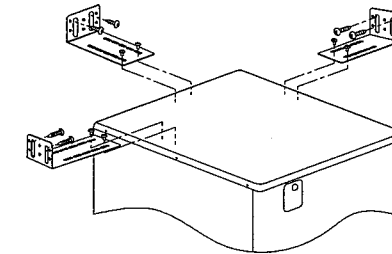
後脚

貯湯ユニット後脚部のアンカーボルトによる固定は、後方の固定用の穴を使用してください。



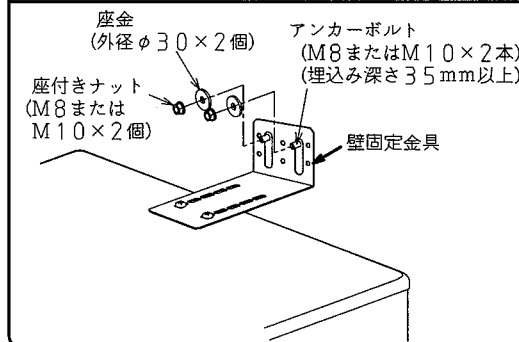
●壁固定金具の固定方法

- 壁固定金具は下図のように貯湯ユニットの上面板に固定してから壁面に取り付けてください。
(壁固定金具は、3方向に取り付けることができます。)

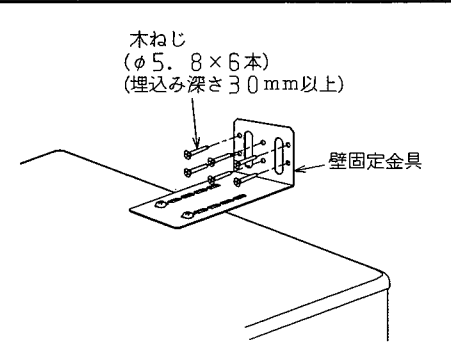


- 下図のように、アンカーボルトまたは木ねじを使用して、壁面等に固定してください。

アンカーボルトで固定する場合



木ねじで固定する場合



アンカーボルトまたは木ねじの合計引張耐力は、3.6kN以上にしてください。
(壁固定金具を取り付ける壁は、引張耐力4kN以上耐える壁や桧を設けてください。)

【転倒防止対策】

国土交通省より「建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件（平成12年建設省告示1388号）」が改正されました。この内容を受けて、下記のとおり転倒防止措置を記載しましたので、正しく据え付けてください。

据付場所	壁固定金具	アンカーボルト	呼び径	1本あたりの引張耐力	ドリル径 (mm)	有効埋込み深さ	固定数
地上階	なし／あり	おネジ式アンカーボルト	M12	6.7kN以上	φ12.7	60mm	3本以上

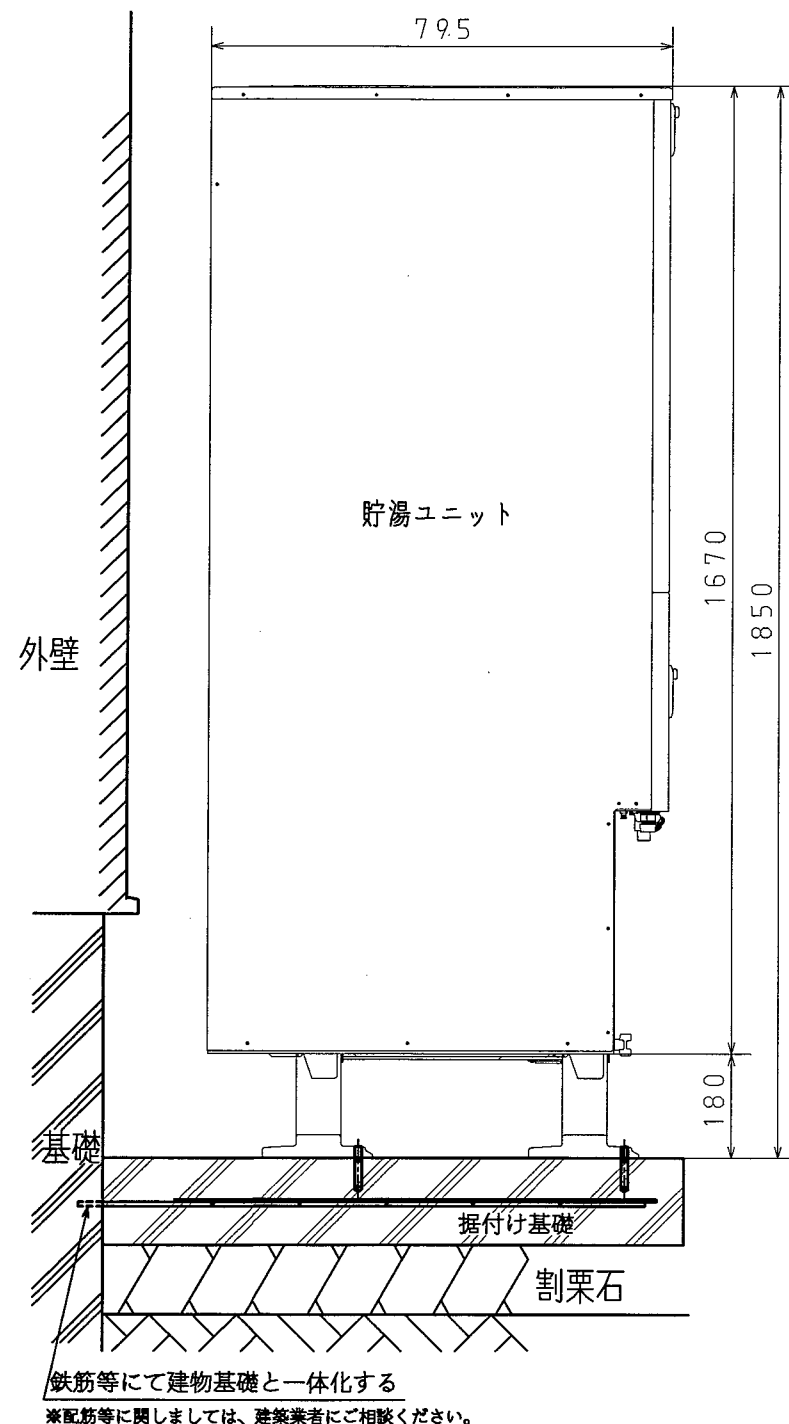
●詳しくは、「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」（一般財団法人 日本建築センター）および「建築基準法施行令第129条の2の4第2号の規定に基づき、建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件（平成12年建設省告示1388号）」に従って確実に行ってください。

名 称	セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機		
型 式 名	CUF-E46P3		9/13
版 数	第 1 版		
		承認	審査
		坂井	伏江
年 月 日	改訂履歴		島田
納入仕様図面		作成	2014年 7月18日
		縮尺	Free
株式会社 コロナ		〒955-8510 新潟県三条市 東新保7-7	

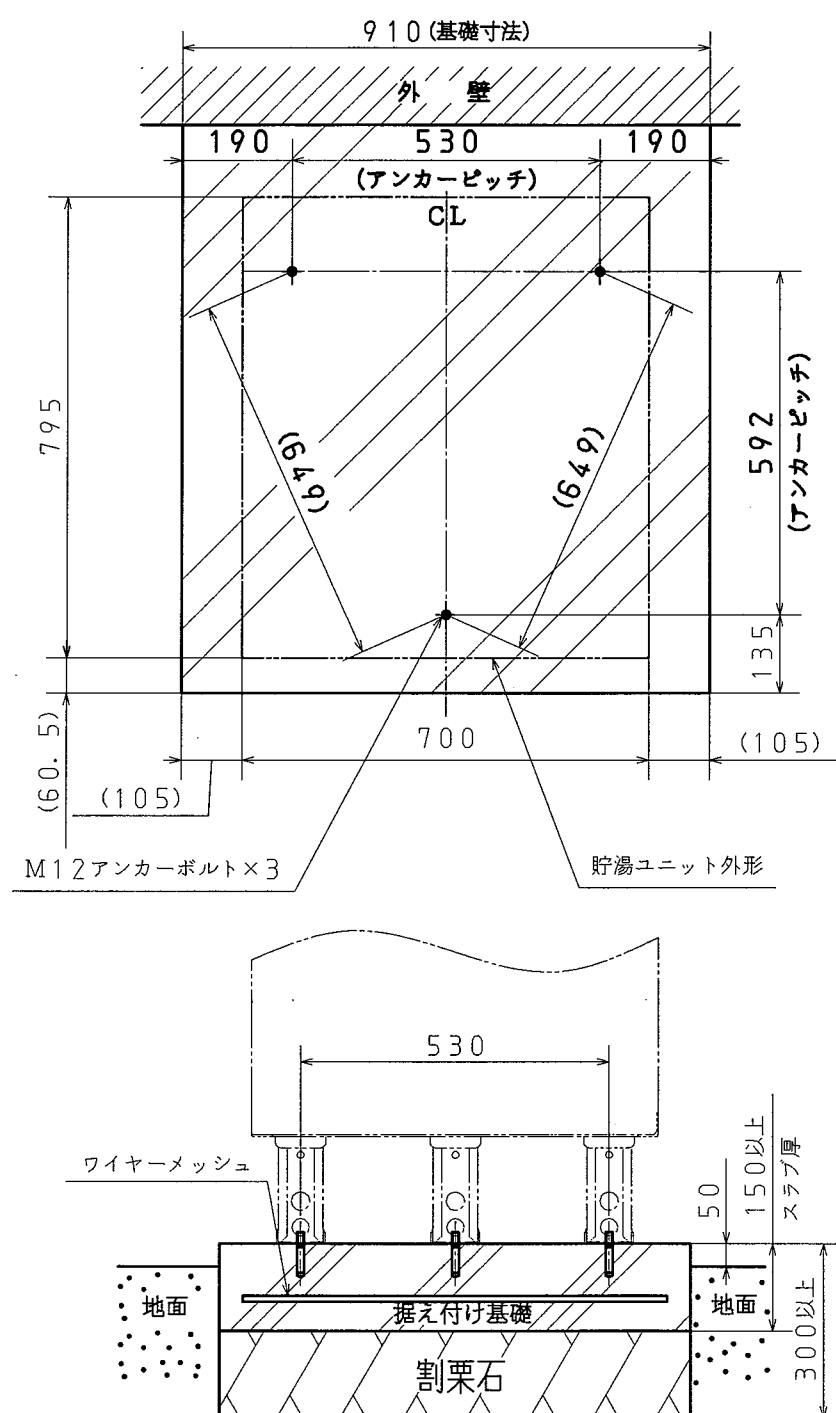
●標準施工例②

地上階設置 <建物基礎と連結した場合>

- 貯湯ユニット満水時の質量に十分耐える基礎工事をしてください。
- 床面は防水・排水工事を行ってください。



鉄筋等にて建物基礎と一体化する
※配筋等に関しては、建築業者にご相談ください。



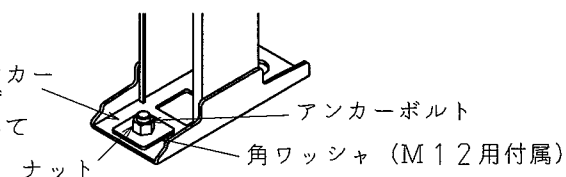
●脚の固定方法

単位：mm

貯湯ユニット脚部をアンカーボルトで固定する

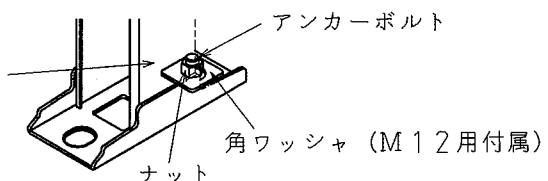
前脚

貯湯ユニット前脚部のアンカーボルトによる固定は、必ず前方の固定用の穴を使用してください。



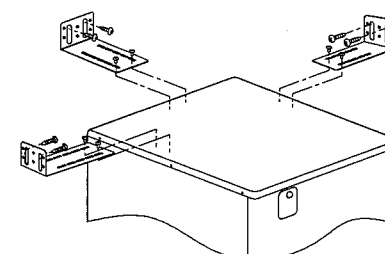
後脚

貯湯ユニット後脚部のアンカーボルトによる固定は、後方の固定用の穴を使用してください。



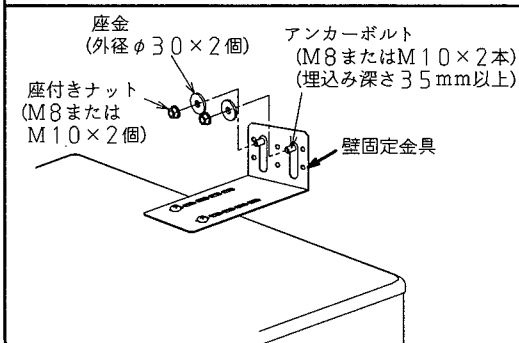
●壁固定金具の固定方法

- 壁固定金具は下図のように貯湯ユニットの上面板に固定してから壁面に取り付けてください。
(壁固定金具は、3方向に取り付けることができます。)

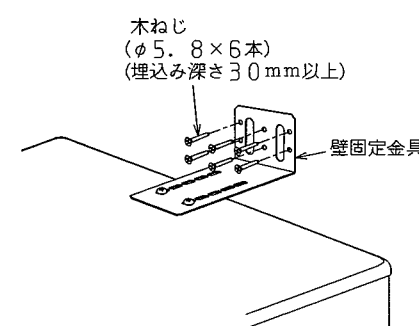


- 下図のように、アンカーボルトまたは木ねじを使用して、壁面等に固定してください。

アンカーボルトで固定する場合



木ねじで固定する場合



アンカーボルトまたは木ねじの合計引張耐力は、3.6kN以上にしてください。
(壁固定金具を取り付ける壁は、引張耐力4kN以上耐える壁や桧を設けてください。)

【転倒防止対策】

国土交通省より「建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件（平成12年建設省告示1388号）」が改正されました。
この内容を受けて、下記のとおり転倒防止措置を記載しましたので、正しく据え付けてください。

据付場所	壁固定金具	アンカーボルト	呼び径	1本あたりの引張耐力	ドリル径 (mm)	有効埋込み深さ	固定数
地上階	なし あり	おネジ式 アンカーボルト	M12	6.7kN以上	φ12.7	60mm	3本以上

●詳しくは、「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」（一般財団法人 日本建築センター）および「建築基準法施行令第129条の2の4 第2号の規定に基づき、建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件（平成12年建設省告示1388号）」に従って確実に行ってください。

名 称	セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機		
型 式 名	CUF-E46P3		10/13
版 数	第 1 版		
	承認	審査	作成
	坂井	伏江	島田
年 月 日	改訂履歴		
納入仕様図面		作成	2014年 7月18日
		縮尺	Free
株式会社 コロナ		〒955-8510 新潟県三条市 東新保7-7	

25773710000 CUF-E46P3

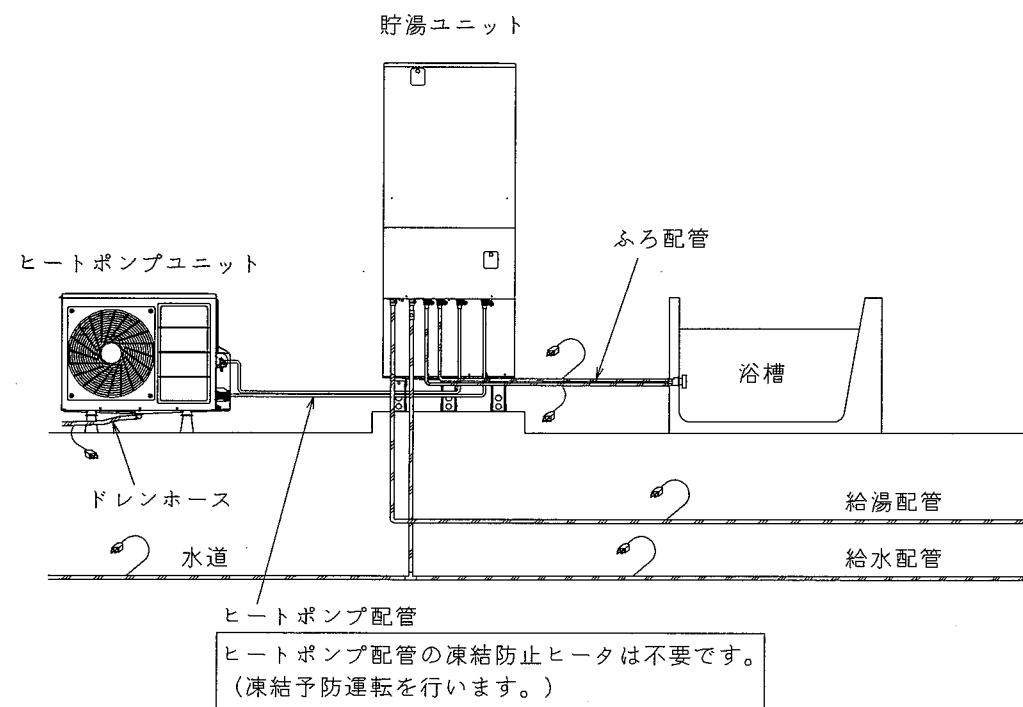
●凍結防止ヒータ施工例

- 保温工事がしてあっても周囲温度が0℃以下になると配管は凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので、適切な凍結防止対策をしてください。
- 凍結防止ヒータは凍結のおそれがある配管・止水栓および配管接続口等全てに施工してください。（ただし、ヒートポンプ配管は除く。）凍結防止ヒータは配管に直接取り付け、その上に保温材を巻きます。

推奨品	凍結防止ヒータ：
	東京特殊電線・・・NFオートヒータ（自己温度制御型）

※一般市販のサーモスタットタイプは温度誤検知のおそれがあります。

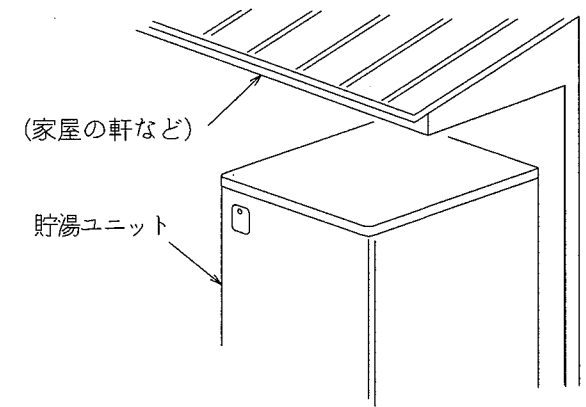
- ふろ配管は、循環ポンプによる凍結予防運転を行います。凍結防止ヒータも取り付けてください。
- 凍結防止ヒータ用のコンセントを適切な位置に設けます。



●積雪地域に据え付ける場合

1. 貯湯ユニット

- 積雪地域では、貯湯ユニットに小屋がけをして、降雪および屋根からの落雪を防いでください。



2. ヒートポンプユニット

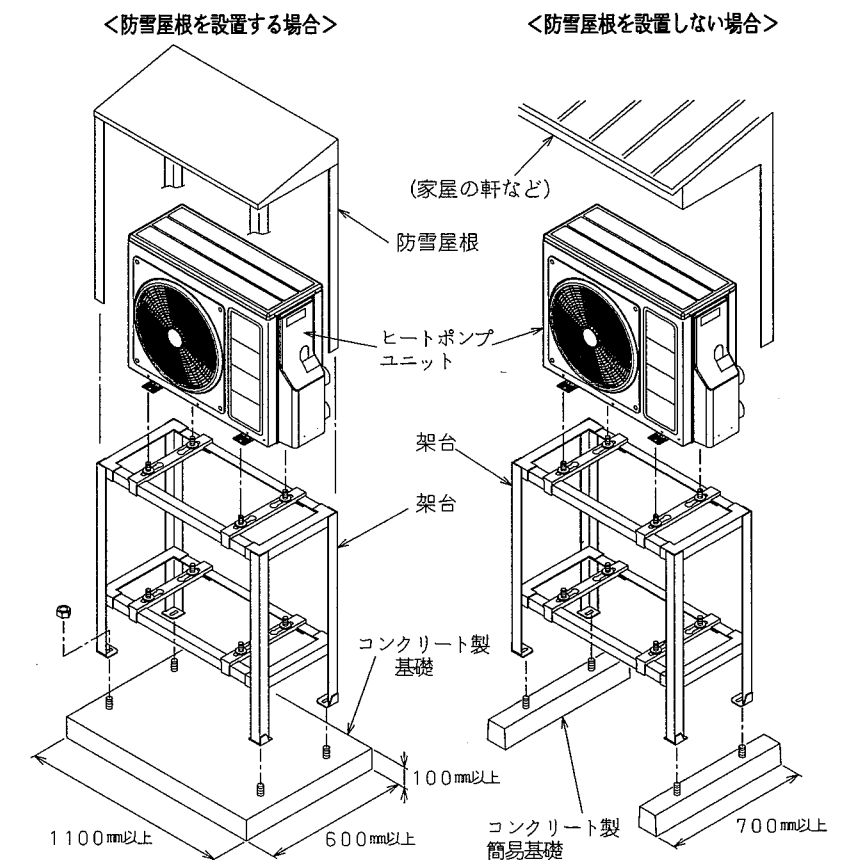
- 積雪地域では、落雪から機器を保護するため防雪屋根を設置するか、軒下などに据え付けてください。また、降雪や除雪により雪が空気吸込口や吹出口をふさいだり、入らないよう架台の上に据え付けるなど防雪対策を実施してください。

推奨品	架台：
	日晴金属(株)製キャッチャー C-WG-L, C-WZG-L 相当品
推奨品	防雪屋根+架台：
	日晴金属(株)製キャッチャー C-RZG-L+C-WZG-L 相当品

- 架台はコンクリート製簡易基礎の上に据え付けてください。防雪屋根を使用する場合は、コンクリート基礎工事を行い架台をアンカーボルト（M12）で固定してください。
- ヒートポンプユニットに防雪カバー（別売品：CHP-BC3-C）を取り付けてください。また、防雪カバーを取り付けた場合は、架台の上に据え付けてください。

お願い

- 2階以上で防雪対策として架台を使用する場合は架台自体を設置面に固定してください。
- ヒートポンプユニットの質量（約60kg）に十分耐える架台を使用してください。



名 称	セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機			
型 式 名	CUF-E46P3			11/13
版 数	第 1 版			
		承認	審査	作成
		坂井	伏江	島田
年 月 日	改 訂 履 歴	作成	2014年 7月18日	
納入仕様図面		縮 尺	Free	
株式会社 コロナ		〒955-8510	新潟県三条市 東新保7-7	

●標準配管概要図

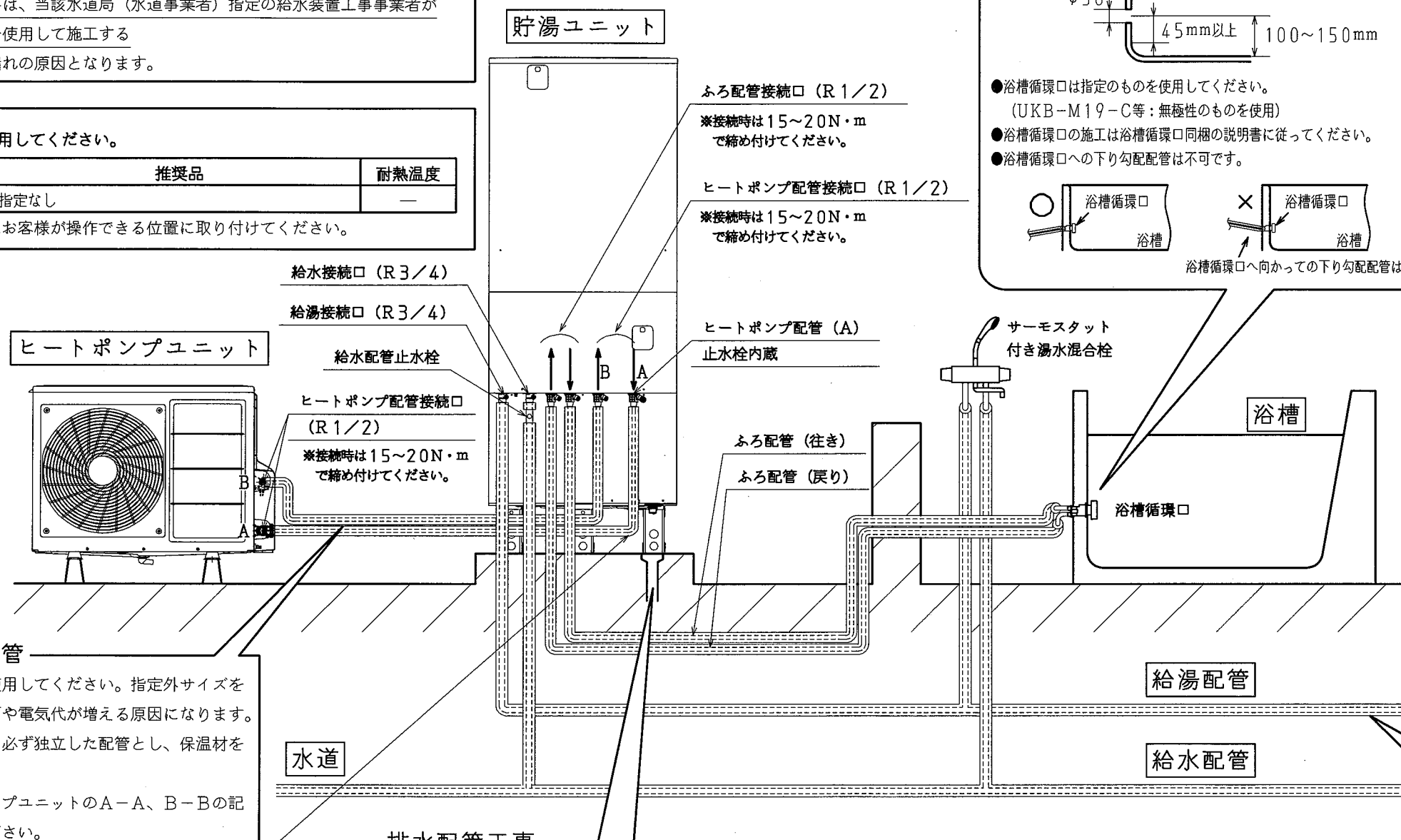
- 上水道直結の配管工事は、当該水道局（水道事業者）指定の給水装置工事事業者が指定された配管材料を使用して施工する
配管破裂による水漏れの原因となります。

専用止水栓

- 下記回路に止水栓を使用してください。

使用回路	逆止弁	推奨品	耐熱温度
給水配管	無し	指定なし	—

- 給水配管用の止水栓はお客様が操作できる位置に取り付けてください。

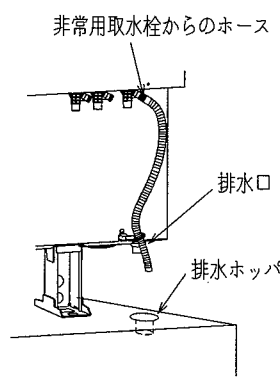


ヒートポンプ配管

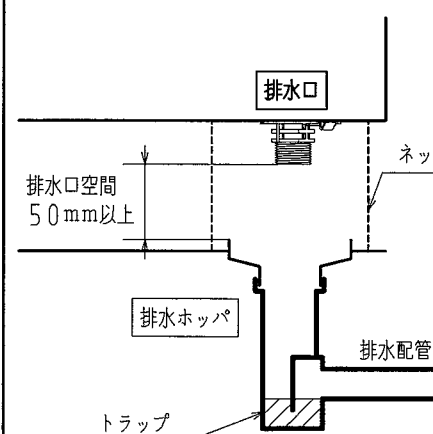
- 配管は必ず指定サイズを使用してください。指定外サイズを使用すると沸上げ性能低下や電気代が増える原因になります。
- ペアチューブは使用せず、必ず独立した配管とし、保温材を巻いてください。
- 貯湯ユニットとヒートポンプユニットのA-A、B-Bの記号を合わせて接続してください。

ホースの取りまわし

- 非常用取水栓からのホースを排水ホップへ導いてください。



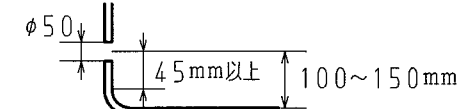
排水配管工事



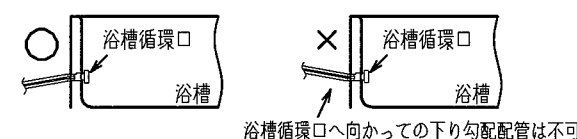
- 沸上げ中に貯湯ユニット内のお湯が膨張し、その膨張分が排水口より出ますので、必ず排水工事を行ってください。
- 口径φ80以上の排水ホップや排水トラップおよびφ50以上の排水配管を使用してください。（90℃以上の耐熱性・耐食性を有するもの）
- 排水ホップと排水口の中心位置を確実に合わせてください。
- 排水配管には害虫侵入や臭いもれ防止となるような機構を設けるか、排水トラップを設けてください。封水構造になっていないと臭気や腐食性ガスが上がり、本体・配管が腐食、損傷します。
- 排水ホップを設けたときは、点検可能なトラップを設けてください。
- 排水ホップにゴミが入らないように、また、排水口からのお湯に手を触れないように、排水口と排水ホップとの隙間を耐熱性を有するネット等でおおうか、脚カバー（別売品）をご使用ください。
- 排水口と排水ホップの排水口空間は50mm以上確保してください。排水ホップが排水口の下に設置されていない場合でも必ず排水口空間を50mm以上確保してください。排水ホップの中に排水口が入っていると、貯湯ユニット内が負圧の時、汚水が逆流して貯湯ユニットへ流入するおそれがあります。

浴槽の穴あけ工事

- 浴槽の穴は、底面から100～150mmの位置にあけてください。推奨値を外れた場合は、不具合が起こる可能性があります。
- 穴径のセンタは浴槽底面の曲がり終了位置から45mm以上確保してください。

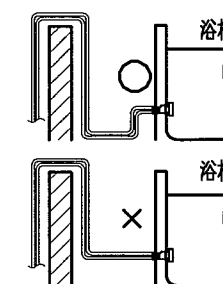


- 浴槽循環口は指定のものを使用してください。（UKB-M19-C等：無極性のものを使用）
- 浴槽循環口の施工は浴槽循環口同梱の説明書に従ってください。
- 浴槽循環口への下り勾配配管は不可です。



鳥居配管の場合の施工方法

- ふろ配管を浴槽循環口より低く配管してください。



フレキ管の使用について

- フレキ管は、ふろ配管接続部の位置ずれの吸収のみに使用可能です。（30cmまで）ただし、エアがみや放熱ロスを防ぐため、できるだけ使用を避けてください。

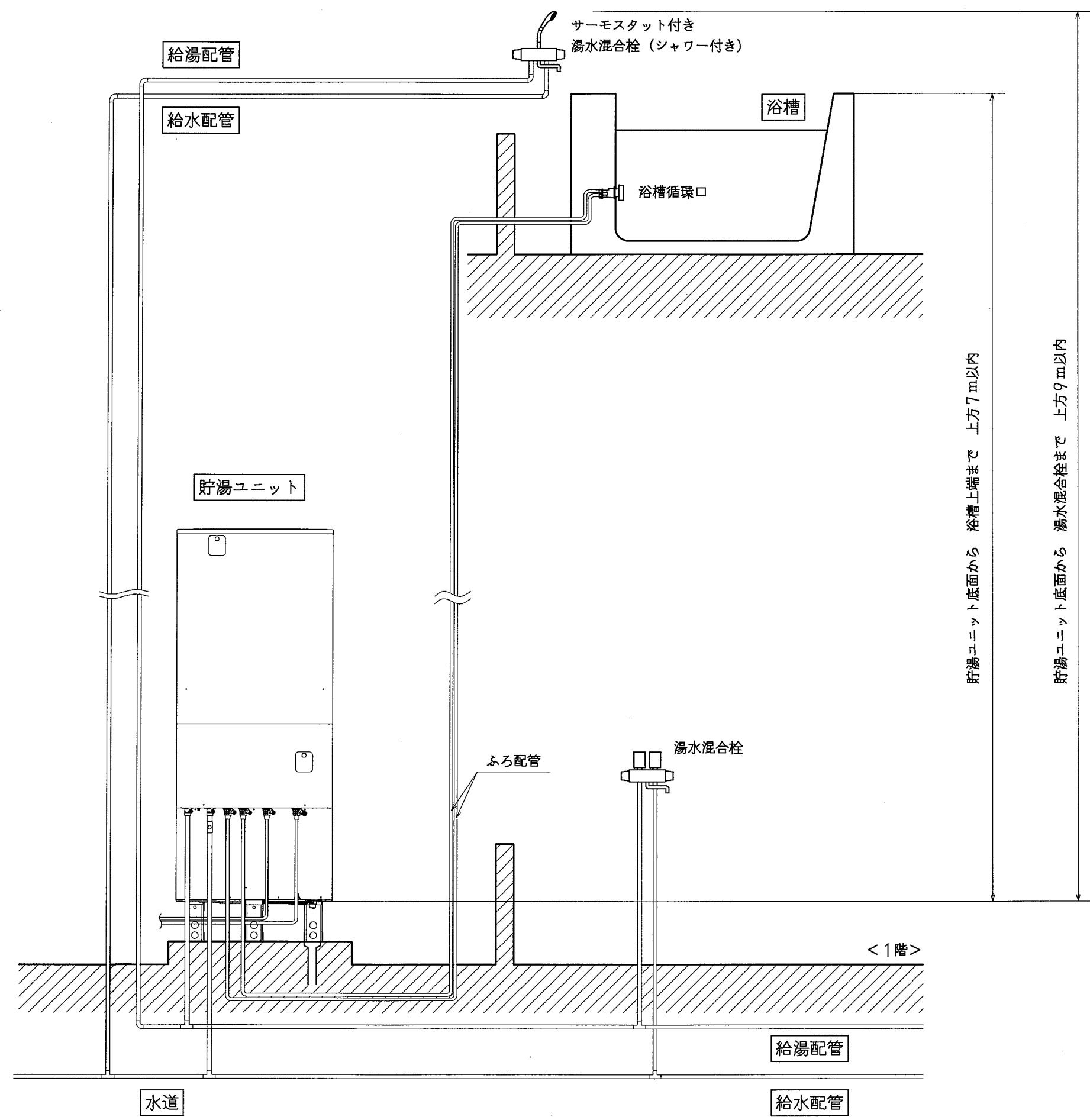
- 耐熱性樹脂管および保温材は耐候性がありますので、配管が屋外で露出する場合は、必ず耐候性テープを正しく巻いてください。

保温材

- 給水・給湯配管、ヒートポンプ配管およびふろ配管は、厚み10mm以上の耐熱保温材を使用してください。
- 埋設配管の場合、給水・給湯配管については凍結防止のため、凍結深度まで保温工事をしてください。

名 称	セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機			
型 式 名	CUF-E46P3			12/13
版 数	第 1 版			
		承認	審査	作成
		坂井	伏江	島田
年 月 日	改 訂 履 歴			
納入仕様図面		作成	2014年 7月18日	
		縮 尺	Free	
株式会社 コロナ		〒955-8510 新潟県三条市 東新保7-7		

● 2階や3階への配管施工例



- 給水圧力は300kPa以上で使用してください。
- 給水圧力が500kPaを超える場合は、給水用減圧弁を設けてください。
- 3階へ給湯する場合、シャワーヘッドの種類によって流量が変動する場合があります。
(3階にシャワーを設置する場合は、低水压用シャワーヘッドの使用をおすすめします。)
- 配管長が長くなると、お湯が出てくるまでに時間がかかります。

お願い

- 機器に接続する配管設備は、地震その他の振動または衝撃に対して安全上支障のないように設置してください。
- 給水、給湯、ふろおよび電気配線の壁貫通部は、シール材にて防水処理してください。

名 称		セキスイ自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機		
型 式 名		CUF-E46P3		13/13
版 数		第 1 版		
		承 認	審 査	作 成
		坂井	伏江	島田
年 月 日	改 訂 履 歴			
納入仕様図面		作 成	2014年 7月18日	
		縮 尺	Free	
株式会社 コロナ		〒955-8510 新潟県三条市 東新保7-7		